

適正就業基準 自転車整理作業

(公社)大野城市シルバー人材センター

作業名	安全作業のポイント	安全保護具
作業一般	<ol style="list-style-type: none"> 1 常に健康の維持管理に努め、体調が思わしくないときは、就業を控えること。 2 常に安全第一に考え、安全就業に心掛けること。 (1)作業服は、季節、天候に合ったものを着用しは安全チョッキ(反射板付)当センターの帽子など目立つものを着用する。 (2)ひも類の付いてる服は、着用しないこと。 (3)ポケットはひっかからないよに、チャック、ボタンがかかるものを着用すること。 (4)作業靴は、底の滑りにくいもので、表面(甲)の丈夫なものを使用すること。 (5)手袋を必ず着用すること。 4 軽い柔軟体操をして、体をほぐしてから作業に従事すること。 5 自分の体力を十分認識し、割り当てられた作業量の達成が体力的に無理と感じた時は、リーダーや事務局に申し出て、適性配置の措置をとってもらうこと。 6 就業途中で体調が悪くなったら、無理せず作業を中止すること。 7 台風、大雨、大雪など悪天候の場合は、無理せず作業を中止すること。 8 喫煙しながらの就業は絶対おこなわないこと。 9 作業現場の状況を必ず確認すること。特に地面の傾斜や段差、凹凸、冬季の路面の凍結等には十分気をつけること。 10 就業時間は厳守すること。 11 仕事場への行き帰りは、交通事故に気をつけること。 	安全チョッキ
整理作業	<ol style="list-style-type: none"> 1 整理作業は、指定された区域を守って行うこと。 2 整理した自転車の安全には十分注意を払い、特に風の強い時は、より一層気をつけること。 3 整理作業中は、利用者等との無用のトラブルを避けること。 4 整理作業中は、利用者や、通行人など周囲に十分注意を払うこと。 5 道路上の自転車整理を行う場合は、往来の自動車、バイク等に十分注意を払うこと 6 新たにこの作業につく会員は、リーダー等ベテラン会員の指導のもと、安全就業に必要な作業方法や手順を身につけること。 7 リーダー等ベテラン会員は、安全就業の確保に留意し、他の会員の不安全行動を発見した時は、その都度指導すること。 また、不安全状態を発見した時は、事務局に報告するなど、適切な措置をとること。 	適正就業規則 安全就業チェックリスト
移動・運搬作業	<ol style="list-style-type: none"> 1 重量のある自転車の移動の場合は、共同して慎重に行うこと。 2 移動時は、自分の限界を見極め、正しい無理のない姿勢で行い、特に腰部を傷めないように慎重に行うこと。 3 自転車を持って移動させる場合は、必ず両手を使ってフレーム、ハンドル、サドル、荷台の持ちやすい部分の二箇所を持って行うこと。 4 自転車を持ち上げる際は、両足を適度に開き身体を安定させ、特にバランスには十分注意を払うこと。 5 移動する際は、必要最小限の距離にすること。 	

作業名	安全作業のポイント	安全保護具
	<p>6 長い距離を移動させる場合は、台車等を利用し、身体への負担を軽くする。</p> <p>7 移動の際は、自転車が破損して利用者とのトラブルの原因とならないよう、乱暴に扱わないこと。また通行人や駐車車両にぶつからないよう注意を払うこと。</p> <p>8 移動後は、自転車が転倒しないようスタンドで直立しているか確認すること。</p>	
利用者への指導・誘導業務	<p>1 自転車駐車場等で利用者へ置き場所の指導や誘導を行う場合は、ことば使いに配慮し、命令口調になったり、どなったりしないよう十分注意すること。</p> <p>2 指導・誘導中は、利用者とのトラブルの発生を絶対に避け、クレーム等に対しては、聞くだけに止めること。万一トラブルが発生した時は、直ちに事務局へ連絡すること。 また、暴行を受けたり急迫の危険を感じた時は、直ちに避難し、最寄りの交番や事務局へ連絡すること。</p> <p>3 自転車に警告書等を貼付する場合は、指定された位置、方法で、貼付し、無理な姿勢で行わないこと。</p>	
清掃作業	<p>1 清掃作業をする場合は、利用者や通行人等に迷惑を掛けないう、周囲に十分注意を払うこと。</p> <p>2 自転車整理作業のさまたげとなる、空き缶、空き瓶等は必ず除いておくようにすること。</p> <p>3 道路上で作業しなければならない場合は、往来の自動車、バイク等には十分注意を払うこと。</p> <p>4 清掃用具を使用しない時は、安全でじゃまにならない位置に置いておくこと。</p>	